

# 進学 Now!

石橋高校  
進路指導部  
保護者版 9月

## 1. はじめに

ようやく秋の気配を感じられるようになって参りましたが、皆様お変わりありませんか？季節が変わると、生徒の取り組む課題も変化して参ります。以下に各学年ごとの取り組みの概要をお知らせいたしますので、ご確認ください。また、次年度に向けた重要な文書も生徒を通じて通知される時期となります。必ずご一読の上、保護者ご自身が署名・押印してくださるよう、心よりお願い申し上げます。なお、進学に関する情報につきましては、紙面の都合上お伝えしきれない部分もございますので、10月上旬の各学年部会にご参加下さい。よろしくお願い申し上げます。

## 2. 3年生、この時期

いよいよ、秋になってきました。生徒諸君は、現在「センター試験」の願書を書き、10/1【大安】に全員分の出願を終了する予定です。この時期は、この書類をはじめ、多くの正式に提出する文書が多くなり、生徒達も緊張しながら取り組んでおりますが、進路に関わる重要な文書ですので、是非ご家庭でもご相談いただく時間を取り、間違いの無い文書管理・提出をお願いしたいと思います。

昨年度の入試状況もご存知のことと思いますが、予想では今年度の入試も昨年度同様の様相が想定されていますので、基本的に①「私立大の競争激化」②「地方国公立大の難化」③「浪人回避」の方向性は強く現れると思います。①については、文科省による定員厳格化の影響が今年も続きます。偏差値帯が大きく動き、例年の情報が当てにならなくなってきています。担任や進路部からの情報をよく確認して下さい。②は、首都圏私大への合格が難しくなってきたために、関東周辺から東北地方の国公立大学の人気は急上昇し、倍率に変化が現れています。③は、センター試験最後の年…というマスコミや予備校・塾の報道にあおられ、浪人できないというデマや誇大宣伝が飛び交っているため、受験生を悩ませています。不安になった受験生の多くが、この情報により危機感をあおられるため、受験対策講座等への申込数が増加しているとも言われます。

実際には、そんなに大きな変化ではありませんので、浪人しても不利益になることは、あまり考えられません。むしろ、浪人回避のために、不本意な大学選択になって、不満なまま大学に通う方が残酷だと思います。

以上の様な情報を参考に、ご家族で十分に話し合い、学校からの情報を正確にキャッチいただき、生徒にとって将来に生きる選択をお願いしたいと思います。

詳細な情報提供につきましては、学年部会で十分な時間をとってお話ししたいと思いますので、是非ご来校下さい。

## 3. 2年生、この時期

2学期が始まり、学校祭の興奮もまだ余韻として残っているようですが、あまり、ゆっくりしている時間はありません。間もなく、人生最後の「修学旅行」がやってきます。こんなに大人数で旅をすることは、今後無いと思いますので、良い思い出を作って欲しいと思います。

そして、この大きな行事が終了すると11月になり、「受験生として」の毎日がスタートします。学校行事の中心として、部活動の中心として、自分の人生の主人公として、真剣に考え、判断し、行動を改める時期になって参ります。

具体的には、11月から5教科型の模擬テストを受験するようになり、少しずつ現実的な大学受験の【判定】が出されてきます。遠い先のことと考えてきた受験が、一気に目前に迫ります。

そして、ただ真面目に授業を受けているだけでは足りない力もあることに気が始まります。ここで求められる力は、表面的な勉強の点数をあげるのではなく、学問の本質に迫る興味・関心や探究心です。現在2年生は「テーマ研究」に取り組み、グループで協力しながらそれぞれの探究活動を行っております。ご家庭におかれましても、お子様の取り組みを家族の話題として聞いていただき、社会人の先輩としての広い視野から、助言していただけると幸いです。

また、より難関大学を目指す生徒のために、「INゼミ」（石橋難関大学合格ゼミ）も実施し

ております。お子様と将来について語る良い材料となっていると思いますので、是非ともお時間をとって、お子様の将来について語り合う時を持って下さい。よろしくお願い致します。

また、2年生は、次年度のコース選択についても考えていただく季節となります。次年度受験を目指す大学を想定しながら、「国公立大学」を目指すコースと「私立大学」を目指すコースの選択をしていただきます。「文系」の場合は、私立型でも数学や理科を必要とする場合、更に選択肢が増えますので、「大学を知ること」「大学の受験科目を知ること」「国公立と私立の違いを知ること」「本人の意思を知ること」等にご配慮いただき、保護者の方が必ず押印の上、調査にご協力下さい。よろしくお願い申し上げます。

## 4. 1年生、この時期

今年は、学習合宿に代わって「新入生合宿」が初めて実施され、早期に仲間作りが行われたため、大変陽気で賑やかな生徒が多いという印象ですが、けじめを持って行動することも大切です。この時期には、今後の進路に関わる大切な連絡や調査が行われますので、高校生としての自覚を持ち、自分自身がよく考えて行動するだけでなく、保護者の方とも十分に相談し、ご家庭としての意思決定をしていただくことが必要になってきます。

まずは、何となく始まってしまった高校生活を、冷静に見つめ、今後の自分にとって必要なことは何か。そして毎日の生活の中での時間の使い方と優先順位を考え直し、自分に合った高校生活を組み直す時期でもあります。より良い高校生活を送るためにも、生活をしっかり見直してみてください。日常のお子様の様子から、体力的な面も含めてご検討下さい。

また、次年度に向けて「文理選択」を考える時期も近づいております。現在の大学には、「文理融合型」と呼ばれる、文理のコースにかかわらず受験できる大学・学部も増加している様ですが、大多数の大学は、文理の選択によって受験が左右されることとなります。

生徒諸君は、文理・職業適性テスト（ジブラボ）を受験しており、その結果がそろそろ（10月上旬）届く予定になっております。その結果もご参考になさって下さい。

高校生活の3年間は、あっという間に過ぎて参ります。一つ一つの行事や試験、進路調査などの機会に、できるだけお時間を取っていただき、ご家族で話し合う時間を持っていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

## 5. 英語外部模試（4技能検定）の扱いについて

英語の4技能検定とは、「読む」「書く」に加えて、「聞く」「話す」を加えた検定試験のことですが、この検定の結果を、大学受験に活用することが発表され、この秋から動き始めました。

この4技能検定の課題は、①利用する方法や手段が大学ごとに異なっていること。②利用方法について未発表の大学も多数存在していること。③3年生の4月から12月の間の受験結果に限定されていること。④部活動の大会の時期が確定していないのに、検定の予約が必要なこと、⑤外部検定なので学校では受験できないこと。など、多くの問題点が指摘されています。

現2年生につきましては、大学入試センターへの共通IDの発行申し込み期間が定められ、修学旅行後の11/1から受付が始まります。また、英検の受験申し込みがすでに始まり、予約金が要求される仕組みとなっておりますので、待たなしの感があります。

現1年生につきましては、次年度、2年生同様の日程で行われることが予想されますので、それに向けて準備していく予定です。

ベネッセのGTEC試験については、体験として1学年・2学年でそれぞれ1回ずつ受験することになっており、3年次に初めての受験とならないよう、配慮しております。

本校生にとって最も大きな課題は、④の部分です。部活動加入率が非常に高い本校生にとって、3年1学期は最後の大会の時期でもあります。その時期の検定試験を今から予約することは、非常に難しく、英語検定前の勉強も厳しくなることが予想されます。⑤のように学校では無い場所に移動して受験しますので、交通費もかかります。

様々な点でこれまでとは違ってきますので、落ち着いて情報を集め、後手に回らないように注意深く進めていくことが必要になってきております。

生徒諸君にとって、安心して受験できる準備と環境を整えていきたいと思います。保護者の皆様にもできる限りの情報をお伝えしていきたいと思いますので、ご協力をお願い申し上げます。

（進路指導部）